

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 必履修・選択 |
|----|--------|-----|------|--------|
| 公民 | 政治経済応用 | 2 | 3 学年 | 選択 |

沖縄県立具志川高等学校

1. 教科の目標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2. 評価の観点および趣旨

| | |
|------------|---|
| 関心・意欲・態度 | 現代の社会と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。 |
| 思考・判断 | 現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断する。 |
| 資料活用の技能・表現 | 諸資料を収集し、有用な情報を主体的に選択して活用するとともに、追及し考察した過程や結果を適切に表現する。 |
| 知識・理解 | 現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 |

3. 評価方法・・・定期テスト70% 授業ノート・提出物等20% 授業態度10%

- ① 定期テスト・・・学期毎に期末テストを実施する。ただし、3学期は卒業テストのみ実施する。テストは授業内容を主にして出題する。
- ② 授業への参加状況・・・教科書を中心に授業を進め、単元ごとにノート等を提出させ、参加状況の把握に資する。
- ③ 提出物・・・適宜課題を課す。

4. 使用教科書・教材

- (教科書) 第一学習社『政治・経済』
(副教材) 第一学習社『最新政治・経済資料集2019』
とうほう『ニューコンパスノート政治・経済2019』

5. 授業の展開と形態

3 学年文系クラスを対象とする自由選択の1クラス。

6. 学習方法及び履修上の注意

- ① 授業開きにオリエンテーションを行い、学習計画・評価方法等を説明する。
- ② 自作のプリントを中心に授業を進め、毎時間提出させる。
- ③ 授業は進度予定表に従って行き、テストや課題を実施して学習内容の定着を図る。
- ④ VTR、新聞、インターネットなどを利用した時事問題を扱う。

| | | | |
|-----------------|----------------------|--------------------|------------------------------|
| 10月 | ④人種・民族問題 | 1 | 人種・民族問題 人間の尊厳 |
| | ⑤南北問題と国際協力 | 1 | 経済格差の拡大 自立と国際協力 |
| | ⑥経済摩擦と外交 | 1 | 貿易摩擦 今後の貿易のあり方 |
| | ⑦国際社会における日本の役割 | 1 | 国際社会の中の日本 人類の平和と福祉 |
| | 第2章 現代の国際政治と日本 | | |
| | ①第二次世界大戦後の国際社会 | 1 | 冷戦下の国際政治 緊張緩和と多極化 |
| | ②今日の国際社会 | 1 | 冷戦の終結 冷戦終結後の国際社会 |
| | ③国際社会と国際法 | 1 | 意義と役割 未解決の領土問題 |
| | ④国際連合の役割と国際協力 | 1 | 国際連合の成立 役割 |
| | ⑤安全保障と日本の防衛 | 1 | 日米安保 冷戦終結後の世界と日本 |
| | ⑥国際政治の特質と国際紛争の諸要因 | 1 | 国際政治の特質 国際紛争の諸要因 |
| | ⑦国際平和と日本の役割 | 1 | 国際平和と日本 国益をこえて |
| | 第2編 現代の経済 | | |
| | 11月 | 第1章 経済社会の変容と経済のしくみ | |
| 12月 | ①資本主義経済のしくみとは？ | 1 | 資本主義経済の特質変容 |
| | ②資本主義経済の課題と社会主義経済の変容 | 1 | 資本主義経済の課題 社会主義経済の変容 |
| | ③経済主体と経済活動 | 1 | 三つの経済主体 企業の役割と社会的責任 株式会社 |
| | ④市場経済の機能と限界 | 1 | 価格機構 市場の失敗 競争と独占・寡占 |
| | ⑤景気変動と経済成長 | 1 | 国民所得と景気変動 経済成長と国民の福祉 |
| 1月 | ⑥財政のしくみとはたらき | 1 | 財政 財政の役割 予算と財政投融资 |
| | ⑦租税と国債 | 1 | 租税 租税の課題 国債と国民生活 |
| | ⑧資金の循環と金融市場 | 1 | 資金の流れ 金融のしくみ 銀行の信用創造 |
| | ⑨日本銀行と金融政策 | 1 | 日本銀行の役割 金融の自由化 金融行政の改革 |
| | 期末テスト | 1 | |
| | ⑩インフレーションとデフレーション | 1 | 物価の変動 物価安定施策 |
| | ⑪日本経済の発展 | 1 | 戦後の復興 高度成長期 石油危機と低成長期への移行 |
| | ⑫今日の日本経済 | 1 | バブルの発生と崩壊 規制緩和 豊かな社会の建設 |
| | ⑬労働関係の改善 | 1 | 労働基本権 労働事情の変化 |
| | ⑭社会保障制度の充実 | 1 | 社会保障の歩み 日本の社会保障制度 課題 |
| 2月 | 第2章 国民経済と国際経済 | 1 | |
| | ①国際経済のしくみと現状 | 1 | 自由貿易と保護貿易 国際収支 資本移動 |
| | ②為替相場のしくみ | 1 | 為替取引 変動の要因と影響 |
| | ③国際協調と国際経済機関の役割 | 1 | 通貨制度の変容 貿易とWTOの役割 |
| | ④国際経済の特質と地域的経済統合の動き | 1 | 国際経済機関の役割 国際経済の特質 地域的経済統合の動き |
| ⑤国際経済の諸問題と日本の役割 | 1 | 国際経済の現状 課題 日本の役割 | |
| 卒業テスト | | 1 | |
| 1年間を振り返って | | 1 | |
| | | 1 | |
| | | 計 | |
| | | 64 | |